

層の普及、促進を図っている。その効果や影響については、ゲイ向けクラブイベント参加者への質問紙調査を定期的実施し、HIV 予防に関する知識や意識、行動の動向を把握することによって分析してきた。

本研究班においても過去のクラブ調査と同様に、予防に関する知識や意識、行動の動向や啓発プログラムへの接触状況を把握し年次推移を比較することにより、啓発プログラムの効果、影響について検討したのでその結果を報告する。

B. 研究方法

調査対象者は2009年7～8月に東京都江東区新木場地区および新宿区新宿二丁目地区のクラブで開催されたゲイ向けクラブイベント(合計3回)の参加者とした。調査方法は無記名の自記式質問紙調査とした。手順はイベント会場において調査員が口頭で調査の趣旨と概要をイベント参加者に説明し、協力を依頼した。同意の得られた参加者にはその場で質問紙(A4版2頁)を配布し、回答を依頼した。回答を記入した質問紙は当日その会場内で調査員が回収した。回答者には謝礼として当日会場内で有効なドリンクチケットを配布した。回収時には回答者のプライバシーに配慮し、無回答や誤回答など回答内容の点検は行わなかった。調査3回の回収総数は1000件であったが、調査を行ったイベントの総参加者数は把握していない。

質問紙は本研究班で独自に作成した無記名の自記式質問紙を使用した。調査項目はHIV/STI 予防の知識7問、HIV 予防の意識4問、予防行動3問、受検行動3問、予防啓発プログラム9問、性行動4問、人口統計学的項目5問の全32問からなっていた。

分析対象者は、重複回答者を除外した上で、①自認するセクシャリティに関する質問に対してゲイまたはバイセクシャル、わからない、その他と回答した人、あるいは②性行動に関

する質問に対して過去に男性とのセックス経験ありと回答した人とした。

対象者を年齢階級別に4グループに分類し、各年齢層間の回答の分布を比較した。各質問項目と年齢との関連を検討する際には統計的検定の有意確率(おおむね $p < 0.1$)を指標として考慮した。統計的検定には、質問の回答が名義尺度のときには χ^2 検定を、順序尺度のときには Mann-Whitney の U 検定や Kruskal-Wallis 検定を行なった。回答の集計、統計的検定にはパソコン用統計解析パッケージ HALBAU for Windows Ver. 5.44 (現代数学社、京都、2002年)を使用した。

C. 研究結果

1. 回答者の属性と施設等の利用状況

分析対象となった回答者数は942人であった。回答者の平均年齢は29.9歳(標準偏差:6.7歳、範囲:18～58歳)であった。年齢階級別にみると、24歳以下が24%、25～29歳22%、30～34歳20%、35～39歳16%、40歳以上8%であったが、無回答が98人で全体の10%を占めていた。

回答者の属性について年齢階級別にみたものを別表1に示す。表中の総数は、45歳以上の10人と年齢不明の98人を含む942人の回答状況を示したものである。回答者の居住地は東京都内63%、神奈川県13%、埼玉県9%、千葉県6%の順であった。自認するセクシャリティ(性的指向)はゲイが88%、バイセクシャルが10%であり、両群で全体の98%を占めていた。年齢別にみると24歳以下の集団にバイセクシャルと回答した人の割合がやや多い傾向を認めた。

過去6か月間の施設などの利用状況について年齢階級別にみたものを別表2に示す。新宿二丁目地区に行く頻度は、行かなかった11%、半年に1～2回16%、半年に3～5回21%、月に1～3回34%、週に1回以上17%であり、月に1回以上訪れると回答した人が

全体の半数を占めていた。年齢別にみると月に1~3回の回答がいずれの年齢層でも多かった。行かなかったと回答した99人の居住地は東京49%、神奈川10%、埼玉13%、千葉5%、その他21%であり、東京在住の回答者の8.7%が新宿二丁目には行かなかったと回答した。

過去6か月間の施設などの利用状況をみると、全体の約8割がゲイバーを利用していたが、地域別にみると新宿が約6割強でもっとも多く、以下、新橋、渋谷、上野・浅草の順であった。その他の利用状況についてみると、回答者の5割弱がゲイナイトを、約4割が出会い系サイトを、約3割がゲイショップやソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)、商業系ハッテン場を利用していた。年齢層別にみると24歳以下で新橋のゲイバーの利用が低く、35歳以上では渋谷の利用が低かった。商業系ハッテン場については年齢層が高いほど利用が多かった。特にマンション系ハッテン場は24歳以下で利用が低かった。

2. 啓発プログラムへの接触状況

Rainbow Ringが実施する予防啓発プログラムへの接触状況について別表3に示す。各プログラムへの接触状況をみると、全体の約5割が新宿二丁目のコミュニティセンター(Aktaアクタ)を知っている(「聞いたことがある」と「行ったことがある」の合計)と回答した。また約4割が啓発用コンドームを受け取ったことがあると回答した。約3割がコミュニティペーパー(Monthly Akta マンスリー・アクタ)や予防啓発イベント(Living Together Lounge LT-ラウンジ)を知っていると回答し、約2割が啓発イベントLT-のど自慢を知っていると回答した。

年齢層別にみるとコミュニティセンターAktaに行ったことがある人は年齢が若い人たちほど多く、LT-ラウンジの認知率は30代以上で高かった。

3. HIV/STI 予防の知識と意識

回答者のHIV/STI 予防に関する知識や意識についての集計結果を別表4に示す。正答率が比較的高かったのは「梅毒はアナルセックスだけでなくフェラチオやリングでも感染すること」83%、「通常のエイズ検査では2~3日後に感染しているかどうか分からないこと」71%、「性感染症に感染しているとエイズウイルスに感染しやすくなること」70%、「早期に検査をしてHIVに感染していることがわかっているとエイズ発症を抑えることができること」69%であった。比較的正答率が低かったのは「新しい抗エイズ薬で延命治療できるようになったこと」63%、「コンドームはハンドクリームや軟膏、ベビーオイルと一緒に使うと破けやすくなること」の59%であった。

年齢層間で各知識の正答率について比較したとき違いが認められたのは「延命治療について」と「STI 感染の影響について」、「コンドームの油性脆弱性について」、「早期発見の発症抑制について」の4項目であり、「延命治療」や「STI 感染影響」、「早期発見」の3項目については年齢が高いほど正答率も高かったが、「コンドーム脆弱性」は24歳以下と35歳以上の集団で正答率が低かった。全般的にみると20代、特に20代前半の予防知識が劣る傾向が認められた

過去の性行動を振り返ってHIVに感染する可能性があったと思うか(自身のエイズ感染可能性)という問に対しては約6割が可能性がなかった(絶対ない23%とほとんどない38%の合計)と回答したが、11%は「十分可能性があった」と回答した。回答者の身近での感染者の存在の認識については約5割の人が身近に感じている(いる33%といえると思う17%の合計)と回答したが、年齢別にみると年齢が高いほど身近に感じている人の割合が多かった。1年前と比べてコンドームを使用する友人が多くなったと思う人は66%(強くそう

思う27%とややそう思う39%の合計)であり、年齢層別にみると20代後半で使用が増えたと感じている人の割合が多かった。また、1年前と比べてエイズについて話題にすることが多くなったと思う人と思わない人は半々であった。

4. コンドーム使用状況について

過去6か月間のアナルセックス経験とコンドーム使用状況や購入経験について年齢別に集計したものを別表5に示す。

過去6か月間のアナルセックス経験者は全体の77%であった。

コンドームの使用状況について相手の種類別(特定か不特定の相手か)、行為別(挿入側か被挿入側か)にみると、特定相手との挿入(タチ)時の常用率(毎回使った人の割合)は54%、特定相手との被挿入(ウケ)時が50%、不特定相手(その場限りの相手)との挿入(タチ)時の常用率56%、不特定相手との被挿入(ウケ)時が51%であった。またまったく使わなかった人の割合は特定相手との場合8~11%、不特定相手との場合は3%であった。また「最後にしたアナルセックス」でのコンドーム使用率は特定相手との場合59%、その場限りの人との場合70%であった。年齢別にみると、35歳以上で特定相手との被挿入側での常用率が低い傾向が認められた。

過去6か月間のコンドーム購入経験は全体で71%、購入先はドラッグストア、コンビニ、ゲイショップの順であった。

5. 抗体検査の受検状況について

HIV抗体検査の受検経験と未受検理由に関する集計結果を別表6に示す。

生涯受検率(これまでに1回でも抗体検査を受検したことのある人の割合)は63%、年齢別では年齢層が高いほど受検率が高かった。1回も検査を受けたことがないと回答した289人の主要な未受検理由は、「結果を知るのがこわいから」31%で最も多く、次いで「機会(時間や場所)がなかったから」、「特に気になる

ような症状がなかったから」、「感染している可能性がないから」の順であった。

過去1年間の抗体検査の受検率は47%、受検場所では「病院や医院」19%、「保健所の即日検査」14%、「保健所の通常検査」7%、「南新宿検査・相談室の夜間検査」6%の順であった。年齢別に受診場所についてみると「南新宿検査・相談室の夜間検査」は年齢が高いほど利用が多かった。

6. 東京地区のクラブ調査の推移について

これまでに実施した東京地区のクラブ調査の主要結果の年次推移について別表7に示す。

対象者の属性についてみると平均年齢はわずかに上昇傾向、居住地では東京在住者の割合がわずかに減少傾向にあった。

予防啓発プログラムへの接触状況についてみるとコミュニティセンターAktaの認知率は前回2007年よりやや低下していた。啓発用コンドームの受取経験率は全体として漸減傾向を示していた。受け取り場所別にみるとゲイバーでの受け取りが増加傾向にあるもののイベント会場での受け取りは減少傾向を示していた。啓発イベント(LT-ラウンジとLT-のど自慢)の認知率は2007年より上昇していた。特にLT-のど自慢の認知率は大きく上昇していた。コミュニティペーパーマンスリーAktaの認知率も大きく上昇していた。

HIV/STIに関する予防知識の正答率についてみると「延命治療」や「検査ウインドウ期」の正答率は前回調査より低下し、特に「検査ウインドウ期」の正答率は調査開始以来一貫して低下傾向を示していた。「コンドームの油性脆弱性」の正答率は2007年より上昇していた。

コンドームの使用状況等についてみると、常用率についてはやや減少傾向を示していた。しかし最後にしたアナルセックス時のコンドーム使用率やセックス時の併用品としてのコンドームや水溶性ローションの使用、あるいはコンドームの購入経験についてはいずれも

増加傾向を示していた。特に Condom 購入については薬局やコンビニ、ゲイショップといった主な購入場所の利用が増加していた。

過去1年間の抗体検査の受検率についてみると、2003年から2005年にかけて25%から36%へと大きく上昇した後、2007年は37%と横ばいであったが、今回47%と再び大きく上昇した。受検場所については病院・医院と保健所の利用が増加していた。

7. 啓発プログラムと受検状況の関連について

今回、過去1年間の抗体検査の受検率が大きく上昇したことから、啓発プログラムと受検行動の関連について検討するため、回答者をプログラムへの接触状況により接触群と非接触群の2群に分類し、両群間の受検率を比較した。その結果を別表8に示す。表中には各啓発プログラムへの接触状況と過去1年間の抗体検査の受検経験とのオッズ比とその有意確率を記号で示す。各啓発プログラムへの接触状況と抗体検査の受検経験との関連についてみると、いずれのプログラムにおいても有意な関連を認めた。そこでさらに各受検場所での受検経験との関連について検討した。啓発プログラム別にその関連をみると「LT-のど自慢」への接触状況は「病院・医院」や「保健所の即日検査」での受検経験との有意な関連を認め、「アクタ」や「マンスリー Akta」、「LT-ラウンジ」は「南新宿検査・相談室」での受検経験との関連を認めた。「啓発用 Condom」の受け取り経験は「病院・医院」や「保健所の即日検査」、「南新宿検査・相談室」での受検経験との関連を認めた。特に「ゲイバーでの啓発用 Condom の受け取り経験」は、いずれの検査場所での受検経験との間にも有意な関連を認めた。

D. 考察

東京のゲイボランティアによる予防啓発プロジェクト Rainbow Ring の展開する予防啓発プログラムの効果を評価し、また新たな予防

啓発プログラムを模索するため、2000年から2007年まで、ほぼ一年半間隔でクラブイベント参加者を対象とした質問紙調査を実施してきた。対象者はクラブイベント参加者という特定の集団であるが毎年同様の MSM 集団の予防に関する知識や意識、行動を調査し、その年次推移を比較、検討することにより、各プログラムの有効性について検討してきた。2005年からは調査地区を新宿地区（新宿二丁目と歌舞伎町）から江東区新木場地区と新宿二丁目地区に変更し、新宿二丁目に来ない MSM への調査が可能となった。

質問紙の形態は2000年から2002年までA4版3段組2ページで40問程度のものを使用していたが、回収率や有効回答率を改善するため2003年からはA4版2段組1ページで質問数を25問に減らしたものに変更した。今回は啓発プログラムへの接触状況や抗体検査の受検状況等に関する質問を11問増したため、A4版1段組2ページに変更し、文字サイズを大きくして回答しやすさの改善を図ったが、年齢等いくつかの主要な質問項目で無回答数が著しく増加する結果になり、分析に少なからず影響を及ぼすことになった。クラブ調査においては量的調査の特性を活かすため質問数は1ページ以内に収まる必要があると思われる。なお実査の手順にこれまでと大きく異なる点はない。

予防啓発プログラムの認知状況について年齢別にみた場合、コミュニティセンターへ行った人の割合やLT-ラウンジなど一部のプログラムの認知率に年齢間の違いがみられたものの、全体的には著しい差異は認められなかった。これは啓発資材や情報がクラブイベントに参加する20代から30代のMSMには比較的均等に浸透していることを示唆していると考えられる。40歳以上については十分な回答者が得られなかったことから、本調査での評価は困難であると思われる。本来クラブイベントに40代の参加者が少ないことを考える

と、この世代への啓発の効果評価についてはゲイバーの顧客やインターネット利用者を対象とした調査の方が妥当であると思われる。

今回の調査では LT-のど自慢や Monthly Akta の認知率が増加していたがその数値は回答者全体の 2 割から 3 割程度であり、東京地区の MSM 全体に普及したとは言い難い状況である。予防啓発の拠点である Akta の認知率は全体の 5 割弱に達しているが実際に行ったことがあると回答した人の割合はわずか 16% であり、同様に Monthly Akta を読んだことのある人の割合も 12% 程度に過ぎないことを考えると、啓発プログラムが普及しつつあるとはいえ、啓発の具体的なメッセージが十分に浸透している状況とは必ずしもいえないであろう。予防知識の正答率において延命治療の有効性や検査のウィンドウ期などきわめて基本的な情報の正答率が低下しつつあることを考えると、今後コミュニティペーパーなどの啓発資材の普及に向けてこれまで以上にさまざまな工夫を凝らしていく必要があるかもしれない。啓発用コンドームの受取経験率は 2003 年以降ほぼ 4 割程度の数値を維持しており、今回の調査結果もほぼ同様の値であった。7 年間以上も啓発用コンドームの配布プログラムを継続し、しかも一定水準の受取経験率を維持してきたことが、コンドームの断続的な使用や購入経験の改善に繋がっているのではないかと推察される。常用率については低下傾向にあるが、質問紙変更に伴う無回答数の増加の影響も無視できないことから、データ処理方法等について再検討した上で分析する必要があると思われる。

各啓発プログラムと受検場所との関係をみたとき、Akta や Monthly Akta、LT-Lounge への接触群では南新宿検査・相談室での受験者が多く、LT-のど自慢の接触群では病院・医院や保健所の即日検査での受検が多く、啓発用コンドームの受け取り経験群ではいずれの受検場所での受検経験も多かった。その関連性

を概観すると 3 つのタイプに分類されるが、各プログラムの趣旨と受検場所の特性をみたとき、今回の分析からその関連性の意味を明確にするには至っていない。今後さらに詳細な検討を加えることにより関係を明らかにすることが課題である。しかし今回の調査で受検率が特に増加した病院・医院や保健所の即日検査と、認知率の増加した啓発プログラム LT-のど自慢とに関連が認められたことから、啓発プログラムが受検行動の普及に一定の影響を与えたことは十分に推察できるが、これらの受検者やプログラム認知者の属性や予防意識などの関連性についても検討すべきであろう。

抗体検査の未受検理由についてみたとき、「結果を知るのがこわいから」がもっとも多かったが、LT-ラウンジや LT-のど自慢などの陽性者の手記の朗読を通じて陽性者を身近な存在と感じさせるような啓発プログラムの普及はこのような未受検理由の意識を改善することに繋がるかもしれない。また「特に気になる症状がなかったから」という理由については、検査に関する知識では早期発見の重要性の正答率が高いことを考えると、早期発見における「早期」の意味を、発症の早期段階と誤解し、発症前の無症状の段階と正しく理解していない人が多いことが考えられることから、今後、早期発見の重要性について啓発していくときにはその意味が正確に伝わるようにメッセージを工夫する必要があるだろう。

E. 結語

2009 年までの東京地区におけるゲイボランティア Rainbow Ring による HIV 予防啓発プログラムの効果を評価するため、2009 年 7~8 月にゲイ向けクラブイベントの参加者に対して質問紙調査を行い、HIV/STI 予防に関する知識や意識、行動と予防啓発プログラムへの接触状況について調査した。

Rainbow Ring の啓発プログラムの認知度で

は、コミュニティペーパーや啓発イベントの認知度が2007年より上昇しており、啓発プログラムがコミュニティに着実に浸透していた。コンドームの常用率を除く予防行動は2007年より改善していた。特に抗体検査の受検率は著しく上昇しており、啓発プログラムと受検行動の間に関連を認めたことから、東京地域のMSMにおいて多様な啓発プログラムが受検行動に一定の影響を及ぼした可能性が示唆

された。予防啓発プログラムにおいて陽性者への支援等を含むHIV感染症に関する多彩な情報提供が予防行動の変容に必要であると考えられる。

F. 発表論文等

なし

別表1 対象者の属性

	総数*(%)	～24歳(%)	25～29歳(%)	30～34歳(%)	35～44歳(%)	p値#
調査対象のクラブイベント						
イベントA(090718)	753 (79.9)	113 (50.2)	174 (84.5)	174 (91.1)	196 (93.3)	<0.00001
イベントB(090810)	95 (10.1)	81 (36.0)	3 (1.5)	1 (0.5)	0 (0)	
イベントC(090828)	94 (10.0)	31 (13.8)	29 (14.1)	16 (8.4)	14 (6.7)	
合計	942 (100)	225 (100)	206 (100)	191 (100)	210 (100)	
過去のクラブ調査への回答経験						
ない	803 (85.2)	199 (88.4)	183 (90.1)	161 (85.2)	182 (87.5)	0.32603
以前にある	96 (10.2)	17 (7.6)	18 (8.9)	19 (10.1)	21 (10.1)	
わからない	36 (3.8)	9 (4.0)	2 (1.0)	9 (4.8)	5 (2.4)	
合計	935 (100)	225 (100)	203 (100)	189 (100)	208 (100)	
居住地						
東京	579 (62.7)	134 (59.6)	140 (68.3)	136 (71.2)	127 (60.5)	0.00001
神奈川	116 (12.6)	38 (16.9)	27 (13.2)	17 (8.9)	21 (10.0)	
埼玉	83 (9.0)	25 (11.1)	13 (6.3)	16 (8.4)	8 (3.8)	
千葉	52 (5.6)	14 (6.2)	12 (5.9)	7 (3.7)	13 (6.2)	
その他	94 (10.2)	14 (6.2)	13 (6.3)	15 (7.9)	41 (19.5)	
合計	924 (100)	225 (100)	205 (100)	191 (100)	210 (100)	
セクシャリティ						
ゲイ	802 (87.8)	182 (82.7)	188 (91.3)	176 (92.6)	195 (92.9)	0.00500
バイセクシャル	88 (9.6)	35 (15.9)	15 (7.3)	14 (7.4)	14 (6.7)	
わからない	18 (2.0)	3 (1.4)	3 (1.5)	0 (0)	1 (0.5)	
その他	5 (0.5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
ヘテロ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	913 (100)	220 (100)	206 (100)	190 (100)	210 (100)	

*総数：年齢無回答98人,45歳以上10人を含む。#p値:KWはKruskal-Wallis検定,その他は χ^2 検定による。

別表2 施設等の利用状況

	総数*(%)	～24歳(%)	25～29歳(%)	30～34歳(%)	35～44歳(%)	p値#
新宿二丁目への来所頻度						
毎週	159 (17.2)	43 (19.2)	50 (24.5)	33 (17.4)	24 (11.4)	0.01768
月に1～3回	314 (34.0)	83 (37.1)	74 (36.3)	74 (38.9)	68 (32.4)	0.00064 kw
半年3～5回	195 (21.1)	51 (22.8)	32 (15.7)	40 (21.1)	49 (23.3)	
半年に1～2回	151 (16.3)	28 (12.5)	31 (15.2)	32 (16.8)	43 (20.5)	
行かなかった	99 (10.7)	19 (8.5)	17 (8.3)	11 (5.8)	26 (12.4)	
合計	924 (100)	224 (100)	204 (100)	190 (100)	210 (100)	
利用施設の内訳(複数回答可)						
上野・浅草のゲイバー	83 (9.4)	14 (6.7)	17 (8.5)	10 (5.5)	25 (12.3)	0.07771
新橋のゲイバー	199 (22.5)	20 (9.5)	43 (21.6)	55 (30.2)	54 (26.5)	0.00000
渋谷のゲイバー	129 (14.6)	28 (13.3)	32 (16.1)	32 (17.6)	17 (8.3)	0.04090
新宿ゲイバー	586 (66.2)	155 (73.8)	137 (68.8)	136 (74.7)	131 (64.2)	0.07972
ゲイナイト	402 (45.4)	93 (44.3)	96 (48.2)	92 (50.5)	105 (51.5)	0.47093
ゲイショップ	287 (32.4)	58 (27.6)	67 (33.7)	68 (37.4)	73 (35.8)	0.17461
マンション系ハッテン場	151 (17.1)	27 (12.9)	48 (24.1)	35 (19.2)	38 (18.6)	0.03476
サウナ系ハッテン場	155 (17.5)	18 (8.6)	26 (13.1)	39 (21.4)	60 (29.4)	<0.00001
その他のハッテン場	80 (9.0)	16 (7.6)	20 (10.1)	18 (9.9)	17 (8.3)	0.79003
出会い系サイト(携帯用)	200 (22.6)	50 (23.8)	49 (24.6)	48 (26.4)	39 (19.1)	0.36600
出会い系サイト(PC用)	179 (20.2)	41 (19.5)	45 (22.6)	46 (25.3)	39 (19.1)	0.41476
SNS(mixi,HuGs)	266 (30.1)	80 (38.1)	54 (27.1)	63 (34.6)	63 (30.9)	0.10288
合計	885 (100)	210 (100)	199 (100)	182 (100)	204 (100)	
ゲイバー利用(再掲)						
新宿ゲイバー	586 (66.2)	155 (73.8)	137 (68.8)	136 (74.7)	131 (64.2)	0.21266
新宿以外のゲイバー	115 (13.0)	17 (8.1)	22 (11.1)	14 (7.7)	19 (9.3)	
ゲイバーに行かない	184 (20.8)	38 (18.1)	40 (20.1)	32 (17.6)	54 (26.5)	
合計	885 (100)	210 (100)	199 (100)	182 (100)	204 (100)	
商業系ハッテン場利用種類数(再掲)						
2種類	63 (7.1)	6 (2.9)	13 (6.5)	15 (8.2)	28 (13.7)	0.00031
1種類	180 (20.3)	33 (15.7)	48 (24.1)	44 (24.2)	42 (20.6)	0.00057 kw
なし	642 (72.5)	171 (81.4)	138 (69.3)	123 (67.6)	134 (65.7)	
合計	885 (100)	210 (100)	199 (100)	182 (100)	204 (100)	
出会い系等サイト利用種類数(再掲)						
3種類	78 (8.8)	17 (8.1)	21 (10.6)	22 (12.1)	15 (7.4)	0.53852
2種類	106 (12.0)	32 (15.2)	21 (10.6)	25 (13.7)	25 (12.3)	0.30003 kw
1種類	199 (22.5)	56 (26.7)	43 (21.6)	41 (22.5)	46 (22.5)	
なし	502 (56.7)	105 (50.0)	114 (57.3)	94 (51.6)	118 (57.8)	
合計	885 (100)	210 (100)	199 (100)	182 (100)	204 (100)	

*総数：年齢無回答98人,45歳以上10人を含む。#p値:KWはKruskal-Wallis検定,その他は χ^2 検定による。

別表3 予防啓発プログラムへの接触状況

	総数*(%)	～24歳(%)	25～29歳(%)	30～34歳(%)	35～44歳(%)	p値#
Akta(アクタ)認知						
行ったことがある	151 (16.2)	47 (20.9)	38 (18.6)	32 (17.0)	23 (11.1)	0.00277
聞いたことがある	293 (31.4)	44 (19.6)	65 (31.9)	58 (30.9)	75 (36.1)	0.46324 kw
初めて聞いた	490 (52.5)	134 (59.6)	101 (49.5)	98 (52.1)	110 (52.9)	
合計	934 (100)	225 (100)	204 (100)	188 (100)	208 (100)	
啓発用 condom の受取経験						
あり	363 (38.9)	76 (33.8)	80 (39.4)	68 (36.2)	82 (39.8)	0.52506
なし	569 (61.1)	149 (66.2)	123 (60.6)	120 (63.8)	124 (60.2)	
合計	932 (100)	225 (100)	203 (100)	188 (100)	206 (100)	
啓発用 condom の受取場所						
ゲイバー	268 (28.8)	57 (25.3)	62 (30.5)	49 (26.1)	60 (29.1)	0.59208
イベント会場	113 (12.1)	27 (12.0)	22 (10.8)	23 (12.2)	25 (12.1)	0.96989
アクタ	62 (6.7)	20 (8.9)	14 (6.9)	11 (5.9)	12 (5.8)	0.55864
合計	932 (100)	225 (100)	203 (100)	188 (100)	206 (100)	
LTラウンジの認知						
行ったことがある	78 (8.4)	17 (7.7)	19 (9.4)	17 (9.0)	16 (7.7)	0.04328
知っている	238 (25.6)	39 (17.6)	41 (20.2)	57 (30.3)	57 (26.9)	0.03005 kw
知らない	615 (66.1)	166 (74.8)	143 (70.4)	114 (60.6)	136 (65.4)	
合計	931 (100)	222 (100)	203 (100)	188 (100)	208 (100)	
LTのど自慢の認知						
行ったことがある	56 (6.0)	10 (4.5)	14 (6.9)	9 (4.8)	14 (6.8)	0.75037
知っている	158 (16.9)	31 (13.8)	27 (13.2)	33 (17.5)	29 (14.0)	0.80538 kw
知らない	720 (77.1)	183 (81.7)	163 (79.9)	147 (77.8)	164 (79.2)	
合計	934 (100)	224 (100)	204 (100)	189 (100)	207 (100)	
マンスリーアクタの認知						
読んだことがある	109 (11.8)	26 (11.7)	30 (14.8)	24 (12.8)	22 (10.7)	0.12178
知っている	189 (20.4)	29 (13)	35 (17.2)	44 (23.5)	38 (18.4)	0.11428 kw
知らない	629 (67.9)	168 (75.3)	138 (68)	119 (63.6)	146 (70.9)	
合計	927 (100)	223 (100)	203 (100)	187 (100)	206 (100)	

*総数:年齢無回答98人,45歳以上10人を含む。#p値:KWはKruskal-Wallis検定,その他は χ^2 検定による。

別表4 HIV/STI予防に関する知識・意識

	総数*(%)	～24歳(%)	25～29歳(%)	30～34歳(%)	35～44歳(%)	p値#
HIV予防知識の正答率						
延命治療の有効性	591 (62.7)	136 (60.4)	124 (60.2)	126 (66.0)	145 (69.0)	0.01438
検査ウィンドウ期	668 (70.9)	170 (75.6)	155 (75.2)	146 (76.4)	147 (70.0)	0.36456
STI感染の感染性への影響	664 (70.5)	150 (66.7)	137 (66.5)	147 (77.0)	163 (77.6)	0.00549
梅毒の易感染性	779 (82.7)	189 (84.0)	169 (82.0)	164 (85.9)	179 (85.2)	0.59858
condomの油的脆弱性	559 (59.3)	125 (55.6)	124 (60.2)	130 (68.1)	122 (58.1)	0.06819
HIV自己検査キットの信頼性	600 (63.7)	148 (65.8)	137 (66.5)	118 (61.8)	134 (63.8)	0.89334
早期発見の発症抑制効果	648 (68.8)	145 (64.4)	141 (68.4)	143 (74.9)	157 (74.8)	0.01352
合計	942 (100)	225 (100)	206 (100)	191 (100)	210 (100)	
HIV予防知識の正答数						
7問	184 (19.5)	36 (16.0)	42 (20.4)	43 (22.5)	54 (25.7)	0.42511
6問	249 (26.4)	54 (24.0)	58 (28.2)	60 (31.4)	50 (23.8)	0.06489 kw
5問	177 (18.8)	52 (23.1)	35 (17.0)	34 (17.8)	39 (18.6)	
4問	117 (12.4)	32 (14.2)	20 (9.7)	22 (11.5)	25 (11.9)	
3問	82 (8.7)	23 (10.2)	20 (9.7)	13 (6.8)	13 (6.2)	
2問	49 (5.2)	12 (5.3)	13 (6.3)	6 (3.1)	14 (6.7)	
1問	30 (3.2)	6 (2.7)	4 (1.9)	4 (2.1)	7 (3.3)	
なし	54 (5.7)	10 (4.4)	14 (6.8)	9 (4.7)	8 (3.8)	
合計	942 (100)	225 (100)	206 (100)	191 (100)	210 (100)	
自身のエイズ感染の可能性						
絶対ない	213 (23.2)	44 (19.6)	48 (23.4)	41 (21.5)	45 (21.4)	0.22144
ほとんどない	350 (38.1)	84 (37.5)	82 (40.0)	74 (38.7)	91 (43.3)	0.48029 kw
五分五分	208 (22.6)	55 (24.6)	47 (22.9)	47 (24.6)	30 (14.3)	
十分可能性がある	100 (10.9)	27 (12.1)	23 (11.2)	19 (9.9)	28 (13.3)	
わからない	48 (5.2)	14 (6.3)	5 (2.4)	10 (5.2)	16 (7.6)	
合計	919 (100)	224 (100)	205 (100)	191 (100)	210 (100)	
友人など身近なHIV感染者の存在						
いる	305 (33.1)	50 (22.3)	69 (33.8)	63 (33.0)	94 (44.8)	0.00077
いると思う	159 (17.3)	35 (15.6)	31 (15.2)	38 (19.9)	35 (16.7)	0.00001 kw
いないと思う	192 (20.8)	55 (24.6)	48 (23.5)	40 (20.9)	29 (13.8)	
いない	170 (18.5)	51 (22.8)	37 (18.1)	34 (17.8)	33 (15.7)	
わからない	95 (10.3)	33 (14.7)	19 (9.3)	16 (8.4)	19 (9.0)	
合計	921 (100)	224 (100)	204 (100)	191 (100)	210 (100)	
1年前と比べてゴムと使うゲイの友達が多くなったと思う						
強くそう思う	242 (26.9)	52 (23.9)	68 (34.0)	31 (16.3)	53 (25.6)	0.01247
ややそう思う	355 (39.4)	91 (41.7)	75 (37.5)	82 (43.2)	70 (33.8)	0.00182 kw
あまりそう思わない	240 (26.6)	60 (27.5)	45 (22.5)	61 (32.1)	69 (33.3)	
全くそう思わない	64 (7.1)	15 (6.9)	12 (6.0)	16 (8.4)	15 (7.2)	
合計	901 (100)	218 (100)	200 (100)	190 (100)	207 (100)	

別表5 コンドーム使用状況と購入経験

	総数*(%)	～24歳(%)	25～29歳(%)	30～34歳(%)	35～44歳(%)	p値 [#]
男性セックス経験						
なし	49 (5.2)	14 (6.3)	10 (4.9)	6 (3.1)	7 (3.3)	0.36622
あり	891 (94.8)	210 (93.8)	196 (95.1)	185 (96.9)	203 (96.7)	
合計	940 (100)	224 (100)	206 (100)	191 (100)	210 (100)	
アナルセックス経験						
あり	667 (76.6)	163 (78.0)	156 (80.8)	136 (76.0)	146 (73.4)	0.34675
なし	204 (23.4)	46 (22.0)	37 (19.2)	43 (24.0)	53 (26.6)	
合計	871 (100)	209 (100)	193 (100)	179 (100)	199 (100)	
アナルセックスの相手人数						
1人	138 (20.7)	42 (25.8)	29 (18.6)	36 (26.5)	24 (16.4)	0.34286
2～4人	144 (21.6)	39 (23.9)	35 (22.4)	24 (17.6)	37 (25.3)	
5人以上	203 (30.4)	50 (30.7)	50 (32.1)	45 (33.1)	45 (30.8)	0.10194 kw
無回答	182 (27.3)	32 (19.6)	42 (26.9)	31 (22.8)	40 (27.4)	
合計	667 (100)	163 (100)	156 (100)	136 (100)	146 (100)	
特定相手とのコンドーム使用頻度(タチ)						
毎回使った	311 (54.4)	72 (54.1)	79 (59.4)	65 (55.1)	75 (58.6)	0.26194
使用多い	34 (5.9)	14 (10.5)	6 (4.5)	4 (3.4)	8 (6.3)	
半々	59 (10.3)	11 (8.3)	11 (8.3)	13 (11.0)	7 (5.5)	0.70876 kw
不使用多い	28 (4.9)	6 (4.5)	7 (5.3)	2 (1.7)	4 (3.1)	
全く不使用	59 (10.3)	12 (9.0)	9 (6.8)	12 (10.2)	19 (14.8)	
無回答	81 (14.2)	18 (13.5)	21 (15.8)	22 (18.6)	15 (11.7)	0.70876 kw
合計	572 (100)	133 (100)	133 (100)	118 (100)	128 (100)	
特定相手とのコンドーム使用頻度(ウケ)						
毎回使った	288 (50.1)	81 (55.1)	74 (59.2)	58 (50.0)	55 (44.4)	0.00839
使用多い	38 (6.6)	15 (10.2)	6 (4.8)	8 (6.9)	5 (4.0)	
半々	42 (7.3)	9 (6.1)	3 (2.4)	11 (9.5)	7 (5.6)	0.00632 kw
不使用多い	33 (5.7)	9 (6.1)	10 (8.0)	3 (2.6)	5 (4.0)	
全く不使用	43 (7.5)	13 (8.8)	6 (4.8)	6 (5.2)	14 (11.3)	
無回答	131 (22.8)	20 (13.6)	26 (20.8)	30 (25.9)	38 (30.6)	0.00632 kw
合計	575 (100)	147 (100)	125 (100)	116 (100)	124 (100)	
不特定相手とのコンドーム使用頻度(タチ)						
毎回使った	304 (55.7)	64 (51.2)	81 (61.4)	61 (55.0)	74 (62.7)	0.28275
使用多い	35 (6.4)	8 (6.4)	10 (7.6)	6 (5.4)	6 (5.1)	
半々	53 (9.7)	9 (7.2)	7 (5.3)	11 (9.9)	8 (6.8)	0.14684 kw
不使用多い	12 (2.2)	4 (3.2)	4 (3.0)	0 (0.0)	1 (0.8)	
全く不使用	16 (2.9)	4 (3.2)	2 (1.5)	1 (0.9)	6 (5.1)	
無回答	126 (23.1)	36 (28.8)	28 (21.2)	32 (28.8)	23 (19.5)	0.14684 kw
合計	546 (100)	125 (100)	132 (100)	111 (100)	118 (100)	
不特定相手とのコンドーム使用頻度(ウケ)						
毎回使った	282 (51.3)	77 (54.6)	70 (58.8)	59 (51.8)	54 (47.8)	0.17236
使用多い	30 (5.5)	6 (4.3)	7 (5.9)	9 (7.9)	5 (4.4)	
半々	45 (8.2)	12 (8.5)	2 (1.7)	11 (9.6)	6 (5.3)	0.18016 kw
不使用多い	19 (3.5)	4 (2.8)	4 (3.4)	1 (0.9)	5 (4.4)	
全く不使用	15 (2.7)	7 (5.0)	2 (1.7)	2 (1.8)	2 (1.8)	
無回答	159 (28.9)	35 (24.8)	34 (28.6)	32 (28.1)	41 (36.3)	0.18016 kw
合計	550 (100)	141 (100)	119 (100)	114 (100)	113 (100)	
最後のアナルセックスでのコンドーム使用						
コンドーム使用(n=667)	473 (70.9)	119 (17.8)	120 (18.0)	101 (15.1)	101 (15.1)	0.61180
特定相手の場合(n=382)	224 (58.6)	63 (16.5)	50 (13.1)	46 (12.0)	45 (11.8)	0.12924
不特定相手の場合(n=327)	229 (70.0)	52 (15.9)	63 (19.3)	53 (16.2)	53 (16.2)	0.13707
セックス時併用品の有無						
あり	637 (97.8)	158 (97.5)	151 (98.1)	131 (97.8)	144 (98.6)	0.91561
なし	14 (2.2)	4 (2.5)	3 (1.9)	3 (2.2)	2 (1.4)	
合計	651 (100)	162 (100)	154 (100)	134 (100)	146 (100)	
セックス時の併用品(複数回答可)						
コンドーム	560 (86.0)	148 (91.4)	137 (89.0)	119 (88.8)	121 (82.9)	0.13238
水溶性ローション	500 (76.8)	128 (79.0)	120 (77.9)	113 (84.3)	108 (74.0)	0.20854
ラッシュ	113 (17.4)	20 (12.3)	28 (18.2)	27 (20.1)	34 (23.3)	0.08649
ゴメオ	12 (1.8)	4 (2.5)	2 (1.3)	1 (0.7)	5 (3.4)	0.37147
その他の脱法ドラッグ	13 (2.0)	4 (2.5)	4 (2.6)	2 (1.5)	3 (2.1)	0.91960
覚せい剤	16 (2.5)	2 (1.2)	4 (2.6)	1 (0.7)	4 (2.7)	0.50252
合計	651 (100)	162 (100)	154 (100)	134 (100)	146 (100)	
コンドーム購入経験の有無						
あり	462 (71.1)	112 (69.6)	113 (72.9)	94 (69.6)	97 (67.8)	0.80954
なし	188 (28.9)	49 (30.4)	42 (27.1)	41 (30.4)	46 (32.2)	
合計	650 (100)	161 (100)	155 (100)	135 (100)	143 (100)	
購入場所(複数回答可)						
薬局等	308 (47.4)	77 (47.8)	81 (52.3)	65 (48.1)	68 (47.6)	0.82392
コンビニ等	142 (21.8)	32 (19.9)	36 (23.2)	27 (20.0)	23 (16.1)	0.49632
ゲイショップ	80 (12.3)	24 (14.9)	24 (15.5)	13 (9.6)	14 (9.8)	0.25635
ハッテン場	34 (5.2)	7 (4.3)	8 (5.2)	6 (4.4)	9 (6.3)	0.86517
その他	23 (3.5)	7 (4.3)	4 (2.6)	4 (3.0)	7 (4.9)	0.67945
合計	650 (100)	161 (100)	155 (100)	135 (100)	143 (100)	

別表6 HIV抗体検査の受検状況

	総数 [#] (%)	～24歳(%)	25～29歳(%)	30～34歳(%)	35～44歳(%)	p値 [#]
HIV抗体検査の生涯受検の有無						
あり	595 (63.2)	120 (53.3)	136 (66.0)	132 (69.1)	153 (72.9)	0.00021
なし	315 (33.4)	100 (44.4)	67 (32.5)	59 (30.9)	54 (25.7)	
無回答	32 (3.4)	5 (2.2)	3 (1.5)	0 (0.0)	3 (1.4)	
合計	942 (100)	225 (100)	206 (100)	191 (100)	210 (100)	
検査を受けなかった理由						
結果を知るのがこわいから	94 (31.4)	20 (21.5)	22 (33.3)	20 (35.7)	17 (33.3)	0.19504
機会(時間や場所など)がなかったから	91 (30.4)	32 (34.4)	18 (27.3)	21 (37.5)	18 (35.3)	0.64585
特に気になるような症状がなかったから	73 (24.4)	27 (29.0)	20 (30.3)	14 (25.0)	10 (19.6)	0.55392
HIVに感染している可能性がないから	61 (20.4)	18 (19.4)	14 (21.2)	13 (23.2)	11 (21.6)	0.95470
どこで検査を受けたらよいかわからないから	28 (9.4)	10 (10.8)	5 (7.6)	5 (8.9)	2 (3.9)	0.55178
あいまいなままにしておきたいから	24 (8.0)	4 (4.3)	7 (10.6)	6 (10.7)	3 (5.9)	0.34650
お金がかかるから	13 (4.3)	2 (2.2)	6 (9.1)	0 (0)	0 (0)	0.00764
ゲイ・バイであると説明するのが面倒だから	13 (4.3)	4 (4.3)	3 (4.5)	1 (1.8)	2 (3.9)	0.85072
HIVに感染しているのではと疑われるから	7 (2.3)	0 (0)	2 (3.0)	1 (1.8)	1 (2.0)	0.46451
その他	16 (5.4)	6 (6.5)	2 (3.0)	1 (1.8)	1 (2.0)	0.38871
合計	299 (100)	93 (100)	66 (100)	56 (100)	51 (100)	
過去1年間のHIV抗体検査の受検						
あり	446 (47.3)	97 (43.1)	98 (47.6)	95 (49.7)	99 (47.1)	0.38351
なし	441 (46.8)	114 (50.7)	97 (47.1)	90 (47.1)	106 (50.5)	
無回答	55 (5.8)	14 (6.2)	11 (5.3)	6 (3.1)	5 (2.4)	
合計	942 (100)	225 (100)	206 (100)	191 (100)	210 (100)	
受検場所(複数回答可、100%は総数)						
病院・医院	176 (18.7)	37 (16.4)	38 (18.4)	34 (17.8)	38 (18.1)	0.96772
保健所	196 (20.8)	51 (22.7)	44 (21.4)	43 (22.5)	36 (17.1)	0.37033
即日検査	134 (14.2)	32 (14.2)	35 (17.0)	28 (14.7)	20 (9.5)	0.12479
通常の検査	68 (7.2)	21 (9.3)	10 (4.9)	18 (9.4)	16 (7.6)	0.26839
南新宿検査・相談室	88 (9.3)	16 (7.1)	17 (8.3)	18 (9.4)	30 (14.3)	0.08952
夜間検査	56 (5.9)	8 (3.6)	9 (4.4)	14 (7.3)	23 (11.0)	0.01175
土日検査	35 (3.7)	9 (4.0)	8 (3.9)	4 (2.1)	9 (4.3)	0.62844
その他	14 (1.5)	2 (0.9)	4 (1.9)	4 (2.1)	3 (1.4)	0.75587
合計	942 (100)	225 (100)	206 (100)	191 (100)	210 (100)	
受検場所(再掲、100%は受検者合計)						
病院・医院	176 (39.5)	37 (38.1)	38 (38.8)	34 (35.8)	38 (38.4)	0.96772
保健所	196 (43.9)	51 (52.6)	44 (44.9)	43 (45.3)	36 (36.4)	0.37033
即日検査	134 (30.0)	32 (33.0)	35 (35.7)	28 (29.5)	20 (20.2)	0.12479
通常の検査	68 (15.2)	21 (21.6)	10 (10.2)	18 (18.9)	16 (16.2)	0.26839
南新宿検査・相談室	88 (19.7)	16 (16.5)	17 (17.3)	18 (18.9)	30 (30.3)	0.08952
夜間検査	56 (12.6)	8 (8.2)	9 (9.2)	14 (14.7)	23 (23.2)	0.01175
土日検査	35 (7.8)	9 (9.3)	8 (8.2)	4 (4.2)	9 (9.1)	0.62844
その他	14 (3.1)	2 (2.1)	4 (4.1)	4 (4.2)	3 (3.0)	0.75587
合計	446 (100)	97 (100)	98 (100)	95 (100)	99 (100)	

*総数:年齢無回答98人,45歳以上10人を含む。#p値:KWはKruskal-Wallis検定,その他は χ^2 検定による。

別表7 東京地区のクラブ調査結果の推移

	2001年度 (n=539)	2003年度 (n=529)	2005年度 (n=934)	2007年度 (n=1,039)	2009年度 (n=942)
平均年齢(標準偏差)	27.0 (5.4)	26.9 (5.8)	29.2 (6.0)	28.6 (5.8)	29.9(6.7)
居住地					
東京	68.1	63.6	65.6	63.5	62.7
千葉・埼玉・神奈川	24.2	31.8	25.1	26.2	27.2
その他	6.9	4.6	8.1	10.3	10.2
予防啓発プログラムへの接触状況					
Akta(アクタ)の認知状況		21.0	42.3	49.3	47.6
行ったことがある	-	6.9	14.9	20.9	16.2
聞いたことがある	-	14.1	27.4	28.4	31.4
啓発用 Condom の入手経験		43.1	43.0	42.1	38.9
ゲイバーで入手した	-	-	23.0	28.1	28.8
イベント会場で入手した	-	-	20.9	14.9	12.1
アクタで入手した	-	-	6.7	5.7	6.7
LT-ラウンジの認知状況			31.7	24.8	34.0
行ったことがある	-	-	6.6	-	8.4
聞いたことがある・知っている	-	-	25.1	24.8	25.6
LT-のど自慢の認知状況				8.2	22.9
行ったことがある	-	-	-	-	6.0
聞いたことがある・知っている	-	-	-	8.2	16.9
Monthly Aktaの認知状況				5.3	32.2
聞いたことがある	-	-	-	-	11.8
聞いたことがある・知っている	-	-	-	5.3	20.4
HIV/STI 予防知識の正答率					
HIVの延命治療	63.1	60.6	60.6	72.1	62.7
検査ウィンドウ期	84.2	79.8	79.5	78.5	70.9
Condom 耐性	-	-	54.5	53.8	59.3
STI 感染の影響	61.8	61.5	70.2	71.7	70.5
アナルセックス時の Condom 常用率					
特定相手との場合	(n=222)	(n=255)	(n=472)	(n=542)	(n=572)
常用率	42.8	54.9	56.6	55.4	54.4
不特定相手との場合	(n=172)	(n=241)	(n=458)	(n=455)	(n=546)
常用率	49.4	66.4	63.1	61.3	55.7
最後のアナルセックスでの Condom 使用					
Condom 使用あり		56.6			70.9
特定相手の場合	-	47.1	51.1	51.1	58.6
不特定相手の場合	-	65.3	62.1	67.5	70.0
セックス時の併用品					
Condom	-	66.6	68.4	72.6	86.0
水溶性ローション	-	66.0	60.8	69.8	76.8
ラッシュ	-	48.0	45.0	20.9	17.4
ゴメオ	-	14.2	8.2	2.4	1.8
その他の違法ドラッグ	-	4.4	4.9	3.5	2.0
Condom 購入経験と購入先					
購入経験あり	-	36.6	45.2	50.5	71.1
薬局等	-	20.9	26.6	31.9	47.4
コンビニ等	-	9.6	12.1	13.3	21.8
ゲイショップ	-	4.7	7.3	9.2	12.3
ハッテン場	-	4.3	3.7	5.0	5.2
HIV 抗体検査の受検経験(過去1年間)と受検場所					
受検経験あり	25.1	25.4	36.0	37.0	47.3
病院・医院	8.8	8.6	13.7	12.5	18.7
保健所	6.5	9.4	7.6	16.9	20.8
南新宿検査相談室	7.2	6.4	12.0	7.1	9.3
受検場所(受検者中の%、再掲)					
病院・医院	35.1	34.0	38.1	33.8	39.5
保健所	25.9	37.0	21.1	45.7	44.0
南新宿検査相談室	28.7	25.2	33.3	19.2	19.8

数値の単位は%(年齢を除く)

別表8 受検場所別にみた啓発プログラムと過去1年間の HIV 抗体検査受検のオッズ比

	Akta n=418	Monthly Akta n=282	LT=Lounge n=294	LT-のど自慢 n=202	啓発 Condom n=338	ゲイバーで入手 n=246
過去1年間受検のオッズ比	1.746 ***	1.705 ***	2.122 ***	2.219 ***	2.171 ***	2.247 ***
各受検場所にみた受検のオッズ比						
病院・医院	1.323	1.394 +	1.370 +	1.817 **	1.676 **	1.495 *
保健所	1.134	1.244	1.261	1.306	1.378 +	1.455 *
即日検査	1.064	1.370	1.282	1.599 *	1.591 *	1.684 *
通常検査	1.307	1.104	1.282	0.985	0.970	1.040
南新宿検査・相談室	2.592 ***	2.016 **	3.097 ***	1.655 +	2.411 ***	2.358 ***
夜間検査	2.688 **	1.502	2.631 ***	1.503	2.076 *	2.189 **
土日検査	2.179 *	3.146 **	3.126 **	1.796	2.817 **	2.241 *
その他	1.105	0.567	0.790	1.347	1.200	1.434

*+, 当該啓発プログラムにおける接触群と非接触群の受検率を比較したときの有意確率(p値)

+: p<0.1, *: p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

東海地域における MSM の予防行動に関する研究—NLGR 来場者調査から—

研究協力者：塩野徳史、新ヶ江章友（名古屋市立大学看護学部／財団法人エイズ予防財団）、金子典代、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）、内海眞（国立病院機構名古屋医療センター）、石田敏彦、藤浦裕二（ANGEL LIFE NAGOYA）

研究要旨

東海地域、主に名古屋地域で MSM を中心に構成された ANGEL LIFE NAGOYA (ALN) が実施してきた HIV/AIDS に関する予防活動の効果評価の一環として、2008 年 6 月と 2009 年 6 月に開催された NLGR 来場者を対象に質問紙調査を実施した。回収された質問紙から性別を男性、その他と回答していて、セクシュアリティをゲイ・バイセクシュアル・その他・わからないと回答した人とし、東海地域（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）在住の人を分析対象として、年齢階級別にプログラム認知、HIV 抗体検査受検経験、コンドーム使用状況について比較検討した。分析対象者は 2008 年では 140 人であり、2009 年は 271 人である。

ALN が商業施設に配布しているコンドームの認知は全体で 37.9%（2008 年）、64.9%（2009 年）であり、2008 年に比べて 2009 年は高い割合であった。どちらの年度も各年齢層による差は見られなかった。生涯での HIV 検査受検経験割合は全体で 75.0%（2008 年）、76.0%（2009 年）とどちらの年も高い割合であった。各年齢層によって異なっており、若年齢層に比べて高年齢層で高い割合になる傾向であった。また、過去 1 年間の HIV 検査受検経験割合も全体で 44.3%（2008 年）、45.4%（2009 年）で高い割合であった。過去 1 年間の受検経験割合は年齢層による差は見られなかった。

過去 6 ヶ月間のコンドームの使用状況は、特定相手とのコンドーム常用率は挿入側のときは全体で 49.2%（2008 年）、60.9%（2009 年）であった。被挿入側のときは全体で 54.3%（2008 年）、56.4%（2009 年）であった。不特定相手（その場限りの相手）とのコンドーム常用率は挿入側（タチ）のときは全体で 61.4%（2008 年）、66.9%（2009 年）であった。被挿入側（ウケ）のときは全体で 59.6%（2008 年）、63.4%（2009 年）であった。コンドーム使用状況に関しては相手や行為によって差異は認められなかったが、25 歳-35 歳の層に比べて 35 歳以上の年齢層で常用率は高い割合であり、他地域における調査結果とは異なることが明らかとなった。

A. 研究目的

東海地域、主に名古屋地域での HIV/AIDS に関する予防活動は、MSM を中心に構成された ALN (ANGEL LIFE NAGOYA) と名古屋医療センターのスタッフとの協働で行われてきた。こ

れまで活動の評価として名古屋医療センターにおける HIV 陽性者動向や通院する陽性者へのインタビュー調査などが行われてきた。これに加えて 2008 年、2009 年には NLGR 会場において、来場者を対象とした質問紙調査を実施することが可能となった。本報告では実施

された質問紙調査から東海地域における MSM の予防行動と ALN の活動評価を把握することを目的として結果を報告する。

B. 研究方法

分析対象者は NLGR2008 来場者と NLGR2009 来場者である。NLGR2008 は、2008 年 6 月 7・8 日に開催された。NLGR2009 は、2009 年 6 月 6・7 日に開催された。場所は両年とも中区池田公園である。

2008 年は無料 HIV 検査会の一環として開催された。2009 年はインフルエンザ対策の影響を受けて、無料 HIV 検査会は実施されなかった。

以下に調査方法について説明する。

2008 年は、無記名自記式質問紙調査とした。手順は会場内において NLGR に来場されたと思われる人に調査の趣旨と概要を口頭で説明し、同意の得られた来場者にその場で質問紙 (A4、1 枚) を配布し、回答を依頼した。回答を記入した質問紙は、当日その会場内で調査員が回収した。回答者には謝礼として NLGR2008 携帯ストラップを配布した。回収時にはプライバシーに配慮し、無回答や誤回答の点検は行わなかった。有効回収数は 278 人であったが、NLGR2008 での総来場者数は把握していない。

2009 年は、ノートパソコンを用いたアンケートシステムを開発し、会場内 2 箇所とコミュニティセンター rise に設置したノート型 PC 7 台によって回答を依頼した。来場者に趣旨と概要を口頭で説明し同意の得られた来場者は設置されたノート型パソコンのシステムに従って回答を入力していく方法とした。個人情報特定する質問は設けておらず、入力時は周囲から見られないように隣接するノート型パソコンの間に仕切りを設け、プライバシーに配慮した。入力されたデータはハードディスクに記録され、最終日に本調査の委託業者である MBS (株式会社マイ・ビジネスサー

ビス.) によってデータを回収、データは削除される方法とした。調査協力者全員にオリジナルエコバックを渡し、抽選で 10 人には iPod が当選する仕組みをとった。有効回収数は 511 人である。

さらに NLGR2009 では来場者が主に出入りする池田公園 3 箇所において、毎時 20 分間流入人口を測定した。測定した流入数を各時間毎に 3 倍して、2 日間の来場者のべ人数を 3,084 人推定した。この推定にはダブルカウント、トリプルカウントが含まれるために、他地域で実施された屋外イベントにおける平均出入り回数を参考に、仮に NLGR2009 の会場平均出入り回数を 2 回とすると、2 日間の推定来場者数は 1,542 人となる。したがって NLGR2009 来場者全体に占める有効回収率は 33.1% であると推定できる。

質問紙の構成は本研究班で開発された質問項目を基礎にして名古屋市立大学と ALN によって検討した。1) 年齢、居住地域、性別、性指向などの基礎属性、2) 過去 6 ヶ月間の利用施設など、3) ALN のプログラム認知、4) HIV 検査受検経験、5) 過去 6 ヶ月間のアナルセックスにおけるコンドーム使用状況などであり、2008 年は全 24 問、2009 年は全 21 問であった。

本報告における分析対象者は重複回答を除外した上で、性別を男性、その他と回答していて、セクシュアリティをゲイ・バイセクシュアル・その他・わからないと回答した人とし、東海地域 (愛知県、岐阜県、三重県、静岡県) 在住の人とした。2008 年では 140 人であり、2009 年は 271 人である。

分析対象を年齢階級別に 5 グループに分類し、各年齢層間の回答の分布を比較することにより各年齢群の特徴を明らかにした。各質問項目と年齢との関連を検討する際には統計的有意差 $p < 0.05$ を指標として考慮した。検定にはカイ 2 乗検定を用いた。データの集計及び統計処理には SPSS11.5J (windows) を用

いた。

なお、本研究実施計画については、名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た（ID番号 08002、08009-2）

C. 研究結果

1) 回答者の属性

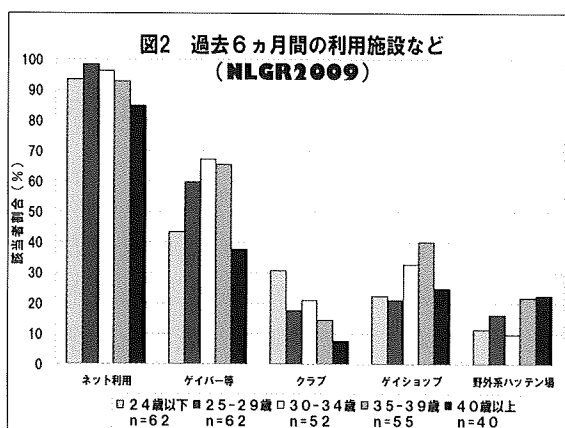
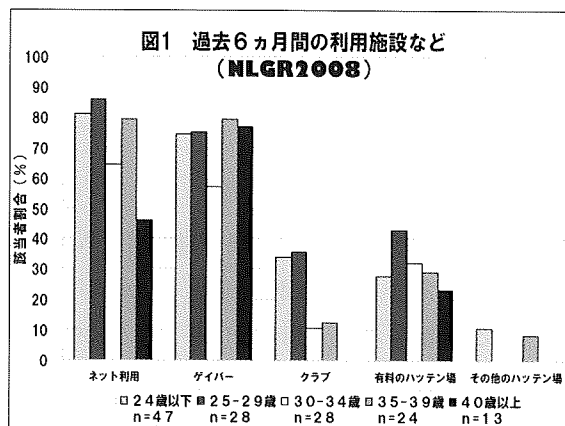
NLGR 来場者調査における回答者の属性を2008年は表1に、2009年は表2に示した。居住地域は、名古屋市37.9%（2008年）、43.9%（2009年）、名古屋市を除く愛知県46.4%（2008年）37.3%（2009年）であった。各年齢層の全体に占める割合は、24歳以下が33.6%（2008年）、22.9%（2009年）、25歳～29歳が20.0%（2008年）、22.9%（2009年）、30歳～34歳が20.0%（2008年）、19.2%（2009年）、35歳～39歳が17.1%（2008年）、20.3%（2009年）、40歳以上が9.3%（2008年）、14.7%（2009年）であった。

2) 過去6ヵ月間の利用施設など

過去6ヵ月間に利用した施設の中で、クラブ利用は2008年、2009年ともに年齢層によって異なり、若い年齢層で利用割合は高かった。

ハッテン場利用に関して年度によって質問項目が異なり比較は困難であるが、本調査ではどちらの年度においても年齢による差はあまり見られなかった。ネット利用割合は全体で75.0%（2008年）、93.7%（2009年）とどの年齢層においても高い割合であった。

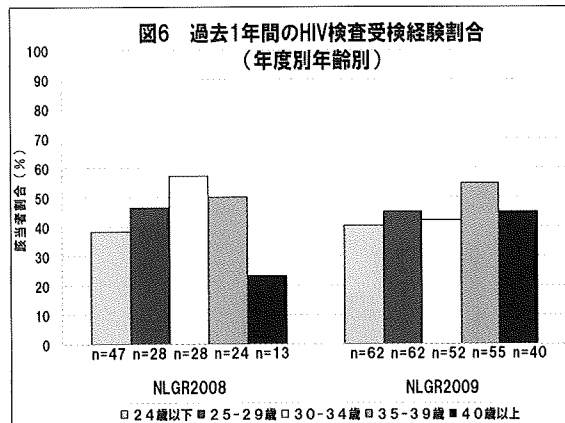
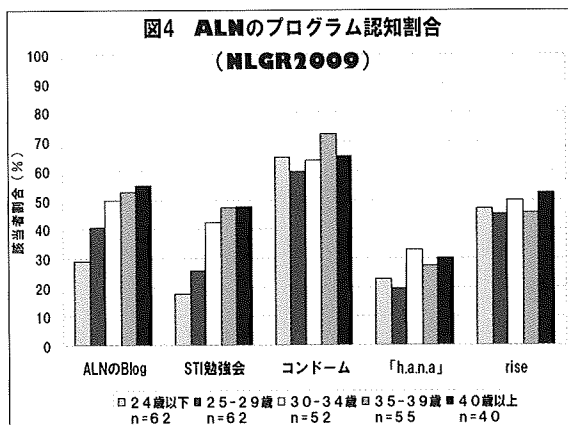
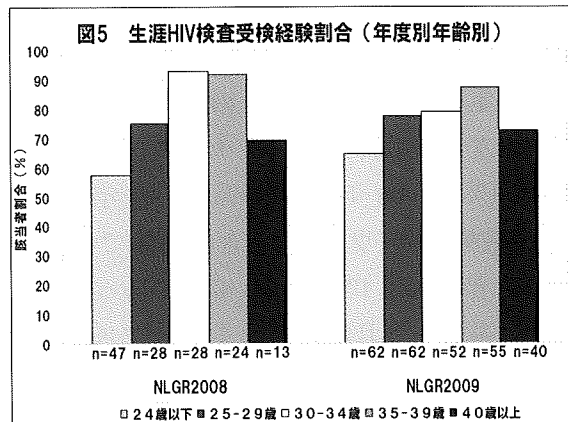
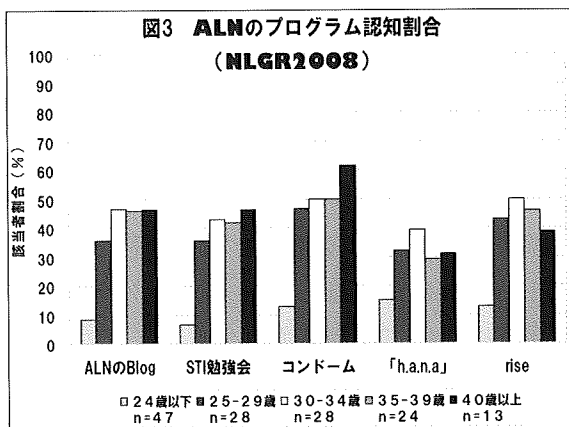
（図1、図2、表1、表2）



3) ALNのプログラム認知

ALN (ANGEL LIFE NAGOYA) が実施している活動の認知割合に関して年度別に表3、表4に示した。

ALNが商業施設に配布しているコンドームの認知は全体で37.9%（2008年）、64.9%（2009年）であり、2008年に比べて2009年は高い割合であった。どちらの年度も各年齢層による差は見られなかった。一方でBlog（2008年）やホームページ（2009年）の認知、性感染症（STI）勉強会の認知は各年齢層によって異なり、若年層の認知は低い割合であった。（図3、図4）



4) HIV 検査受検経験

生涯での HIV 検査受検経験割合は全体で 75.0% (2008 年)、76.0% (2009 年) とどちらの年も高い割合であった。(表 5、表 6) 各年齢層によって異なっており、若年齢層に比べて高年齢層で高い割合になる傾向であった。また、過去 1 年間の HIV 検査受検経験割合も全体で 44.3% (2008 年)、45.4% (2009 年) で高い割合であった。過去 1 年間の受検経験割合は年齢層による差は見られなかった。(図 5、図 6)

NLGR2009 は無料検査を実施することはできなかったが、NLGR2008 は無料検査会を実施した。会場来場者の中で 2008 年に検査をすでに受けたもしくは受けようと思っている人の割合は全体で 58.6% であり、2009 年に無料検査が実施されていた場合受けようと思っていた人の割合は全体で 67.9% であった。(表 9)

5) 性行為経験とコンドーム使用状況

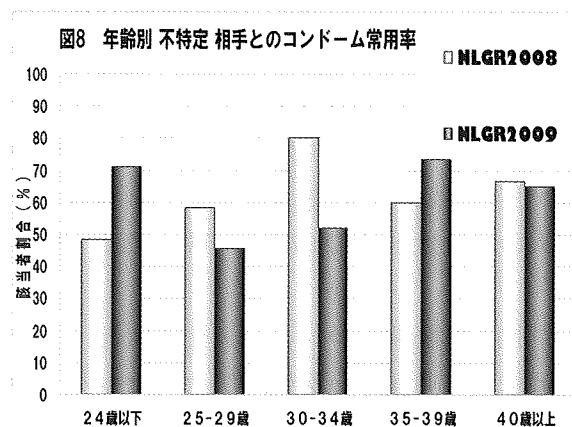
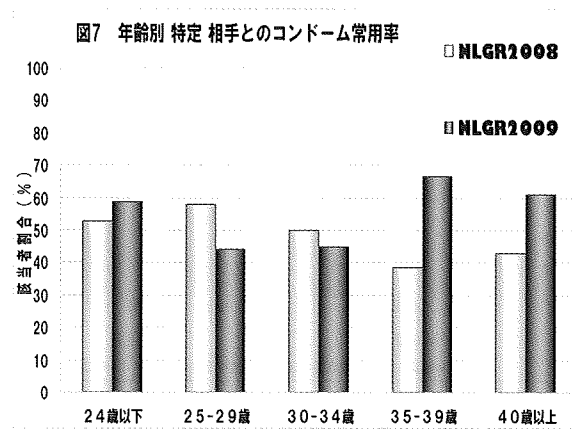
過去 6 ヶ月間に「男性とアナルセックスの経験がある」と回答した人の割合は、全体で 70.7% (2008 年)、62.4% (2009 年) であった。どちらの年も年齢層による差は見られなかった。

コンドームの使用状況について過去 6 ヶ月間のアナルセックス経験者を対象に相手の種類別 (特定・不特定)、行為別 (挿入側・被挿入側) でみると、特定相手とのコンドーム常用率は挿入側 (タチ) のときは全体で 49.2% (2008 年)、60.9% (2009 年) であった。被

挿入側（ウケ）のときは全体で 54.3%（2008 年）、56.4%（2009 年）であった。

不特定相手（その場限りの相手）とのコンドーム常用率は挿入側（タチ）のときは全体で 61.4%（2008 年）、66.9%（2009 年）であった。被挿入側（ウケ）のときは全体で 59.6%（2008 年）、63.4%（2009 年）であった。

次に過去 6 ヶ月間のアナルセックス経験者を対象に相手の種類別、年齢別のコンドーム常用率について特定相手、不特定相手のときをそれぞれ図 7、図 8 に示した。



各年齢層によって有意差は見られなかったが、NLGR2009 の来場者のうち 35 歳以上の層は 25-34 歳層に比べて、相手の種類に関わらずコンドーム常用率は高い傾向であった。

D. 考察

2009 年度に実施したノートパソコンを用いた調査は MSM における有効回答者が 271 人

であり、東海地域におけるこれまでの調査に比べて規模の大きなものとなった。調査手法が異なるために厳密には 2008 年度との質問紙調査との比較は困難であるが、本報告では 2008 年度の調査と同様の分析対象とし、東海地域の MSM における予防行動の推移と ANGEL LIFE NAGOYA が実施しているプログラムの効果評価について検討した。

2008 年度と 2009 年度の調査から得られた分析対象者は、2009 年度分析対象者のほうがやや高い年齢構成となっている。これは NLGR のリピーターが多いことによる高齢化と対象者の増加に伴って範囲が広がったと考えられる。このことは、プログラムの認知がどのプログラムにおいても若年層に比べて高齢層で高い割合となっていることから推察できる。

また NLGR 来場していた MSM における HIV 抗体検査受検経験は生涯、過去 1 年間ともに高い割合であり、年齢層によって異なり若年層に比べて高齢層で高い割合であった。年度によっては明らかな差異が認められなかった。

コンドーム使用状況に関しては相手や行為によって差異は認められなかったが、25 歳-35 歳の層に比べて 35 歳以上の年齢層で常用率は高い割合であり、他地域における調査結果とは異なった傾向である。

E. 結語

NLGR 来場者から 2008 年度と 2009 年度合わせて東海地域における MSM の現状と予防プログラムの浸透度が明らかとなりつつある。このことはこれまでの ANGEL LIFE NAGOYA の活動の成果として大変意義が深いことと思われる。同時に NLGR 来場者調査はプログラムの認知状況や検査受検経験の状況から ANGEL LIFE NAGOYA に近い人々が回答している可能性が示唆され、今後は広くコミュニティにおけるゲイ向け商業施設利用者を対象とした調査を

実施することで、東海地域における MSM の現状をより詳しく把握することができ、今後の予防介入に資することになるとと思われる。

F. 発表論文等

なし

表1 基本属性【NLGR2008】

	年齢階級 (NLGR2008)										合計 n=140	カイ2乗 検定		
	24歳以下 n=47		25-29歳 n=28		30-34歳 n=28		35-39歳 n=24		40歳以上 n=13					
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%				
居住地域														
名古屋市	22	46.8	11	39.3	12	42.9	6	25.0	2	15.4	53	37.9	0.027	
愛知県(名古屋を除く)	20	42.6	10	35.7	11	39.3	15	62.5	9	69.2	65	46.4		
岐阜県	1	2.1	4	14.3	0	0.0	0	0.0	2	15.4	7	5.0		
三重県	2	4.3	0	0.0	3	10.7	3	12.5	0	0.0	8	5.7		
静岡県	2	4.3	3	10.7	2	7.1	0	0.0	0	0.0	7	5.0		
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0		
セクシュアリティ														
ゲイ	37	78.7	25	89.3	27	96.4	23	95.8	10	76.9	122	87.1	0.455	
バイセクシュアル	7	14.9	3	10.7	1	3.6	1	4.2	3	23.1	15	10.7		
その他/無回答	3	6.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1		
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0		
過去6ヵ月間の利用施設など														
ネット利用	38	80.9	24	85.7	18	64.3	19	79.2	6	46.2	105	75.0	0.036	
ゲイバー	35	74.5	21	75.0	16	57.1	19	79.2	10	76.9	101	72.1		0.391
クラブ	16	34.0	10	35.7	3	10.7	3	12.5	0	0.0	32	22.9		
有料のハッテン場	13	27.7	12	42.9	9	32.1	7	29.2	3	23.1	44	31.4		0.646
その他のハッテン場	5	10.6	0	0.0	0	0.0	2	8.3	0	0.0	7	5.0		

* 過去6ヵ月間の利用施設等は「利用あり」と回答した人の人数と割合を示した。

表2 基本属性【NLGR2009】

	年齢階級 (NLGR2009)										合計 n=271	カイ2乗 検定		
	24歳以下 n=62		25-29歳 n=62		30-34歳 n=52		35-39歳 n=55		40歳以上 n=40					
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%				
居住地域														
名古屋市	27	43.5	25	40.3	29	55.8	18	32.7	20	50.0	119	43.9	0.367	
愛知県(名古屋市を除く)	27	43.5	24	38.7	15	28.8	25	45.5	10	25.0	101	37.3		
岐阜県	4	6.5	5	8.1	3	5.8	3	5.5	6	15.0	21	7.7		
三重県	0	0.0	4	6.5	2	3.8	5	9.1	2	5.0	13	4.8		
静岡県	4	6.5	4	6.5	3	5.8	4	7.3	2	5.0	17	6.3		
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0		
セクシュアリティ														
ゲイ	56	90.3	57	91.9	50	96.2	49	89.1	32	80.0	244	90.0	0.324	
バイセクシュアル	5	8.1	5	8.1	2	3.8	6	10.9	7	17.5	25	9.2		
決めたくない	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.5	2	0.7		
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0		
過去6ヵ月間の利用施設など														
ネット利用	58	93.5	61	98.4	50	96.2	51	92.7	34	85.0	254	93.7	0.088	
ゲイバー等	27	43.5	37	59.7	35	67.3	36	65.5	15	37.5	150	55.4		0.006
クラブ	19	30.6	11	17.7	11	21.2	8	14.5	3	7.5	52	19.2		
ゲイショップ	14	22.6	13	21.0	17	32.7	22	40.0	10	25.0	76	28.0		0.131
野外系ハッテン場	7	11.3	10	16.1	5	9.6	12	21.8	9	22.5	43	15.9		
利用なし	0	0.0	1	1.6	1	1.9	1	1.8	2	5.0	5	1.8	0.496	

* 過去6ヵ月間の利用施設等は「利用あり」と回答した人の人数と割合を示した。

表3 プログラムの認知【NLGR2008】

	年齢階級 (NLGR2008)										合計 n=140	カイ2乗 検定	
	24歳以下 n=47		25-29歳 n=28		30-34歳 n=28		35-39歳 n=24		40歳以上 n=13				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
ALNのBlog (ブログ) の認知													
見た	2	4.3	3	10.7	5	17.9	5	20.8	2	15.4	17	12.1	0.016
知っている	2	4.3	7	25.0	8	28.6	6	25.0	4	30.8	27	19.3	
知らない	40	85.1	16	57.1	15	53.6	13	54.2	5	38.5	89	63.6	
無回答	3	6.4	2	7.1	0	0.0	0	0.0	2	15.4	7	5.0	
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0	
性感染症 (STI) 勉強会の認知													
参加した	0	0.0	1	3.6	3	10.7	0	0.0	2	15.4	6	4.3	0.005
知っている	3	6.4	9	32.1	9	32.1	10	41.7	4	30.8	35	25.0	
知らない	43	91.5	16	57.1	15	53.6	13	54.2	7	53.8	94	67.1	
無回答	1	2.1	2	7.1	1	3.6	1	4.2	0	0.0	5	3.6	
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0	
ALNの配布コンドームの認知													
受け取った	4	8.5	5	17.9	3	10.7	4	16.7	3	23.1	19	13.6	0.021
知っている	2	4.3	8	28.6	11	39.3	8	33.3	5	38.5	34	24.3	
知らない	39	83.0	13	46.4	13	46.4	11	45.8	5	38.5	81	57.9	
無回答	2	4.3	2	7.1	1	3.6	1	4.2	0	0.0	6	4.3	
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0	
コミュニティペーパー「h.n.a」の認知													
見た	3	6.4	3	10.7	4	14.3	3	12.5	0	0.0	13	9.3	0.598
知っている	4	8.5	6	21.4	7	25.0	4	16.7	4	30.8	25	17.9	
知らない	38	80.9	17	60.7	16	57.1	16	66.7	9	69.2	96	68.6	
無回答	2	4.3	2	7.1	1	3.6	1	4.2	0	0.0	6	4.3	
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0	
コミュニティセンターriseの認知													
行った	2	4.3	6	21.4	6	21.4	4	16.7	2	15.4	20	14.3	0.133
知っている	4	8.5	6	21.4	8	28.6	7	29.2	3	23.1	28	20.0	
知らない	39	83.0	14	50.0	13	46.4	12	50.0	8	61.5	86	61.4	
無回答	2	4.3	2	7.1	1	3.6	1	4.2	0	0.0	6	4.3	
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0	

表4 プログラムの認知【NLGR2009】

	年齢階級 (NLGR2009)										合計 n=271	カイ2乗 検定	
	24歳以下 n=62		25-29歳 n=62		30-34歳 n=52		35-39歳 n=55		40歳以上 n=40				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
ALNホームページの認知													
見た	9	14.5	20	32.3	16	30.8	12	21.8	14	35.0	71	26.2	0.012
知っている	9	14.5	5	8.1	10	19.2	17	30.9	8	20.0	49	18.1	
知らない	44	71.0	37	59.7	26	50.0	26	47.3	18	45.0	151	55.7	
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0	
性感染症 (STI) 勉強会の認知													
参加した	1	1.6	1	1.6	4	7.7	6	10.9	4	10.0	16	5.9	0.008
知っている	10	16.1	15	24.2	18	34.6	20	36.4	15	37.5	78	28.8	
知らない	51	82.3	46	74.2	30	57.7	29	52.7	21	52.5	177	65.3	
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0	
ALNの配布コンドームの認知													
受け取った	24	38.7	26	41.9	24	46.2	26	47.3	15	37.5	115	42.4	0.800
知っている	16	25.8	11	17.7	9	17.3	14	25.5	11	27.5	61	22.5	
知らない	22	35.5	25	40.3	19	36.5	15	27.3	14	35.0	95	35.1	
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0	
コミュニティペーパー「h.a.n.a」の認知													
見た	9	14.5	7	11.3	11	21.2	13	23.6	8	20.0	48	17.7	0.589
知っている	5	8.1	5	8.1	6	11.5	2	3.6	4	10.0	22	8.1	
知らない	48	77.4	50	80.6	35	67.3	40	72.7	28	70.0	201	74.2	
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0	
コミュニティセンターriseの認知													
行ったことがある	10	16.1	13	21.0	15	28.8	16	29.1	9	22.5	63	23.2	0.584
知っている	19	30.6	15	24.2	11	21.2	9	16.4	12	30.0	66	24.4	
知らない	33	53.2	34	54.8	26	50.0	30	54.5	19	47.5	142	52.4	
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0	